

定例記者会見（9月）次第

○日 時 令和5年9月28日（木）

午前11時～

○場 所 市役所3階 第三委員会室

<出席者>

酒田市／市長

副市長、総務部長、企画部長、地域創生部長、健康福祉部長、市長公室長

酒田記者クラブ／各社

幹事社／河北新報・NHK（9・10月）

1 開 会

(1) 市長発表事項

- ①酒田市の各表彰制度 令和5年度受賞者について（市長公室、農政課、文化政策課）
- ②令和5年度酒田市新田産業奨励賞授賞式及び記念講演会について（商工港湾課）
- ③登録観光地域づくり法人（登録DMO）に登録されました（交流観光課）

(2) 酒田記者クラブ 代表質問〔加盟幹事社〕

(3) 酒田記者クラブ フリー質問〔加盟各社〕

(4) 酒田記者クラブ加盟社以外の報道機関 フリー質問

(5) その他

2 閉 会

◆その他配布資料

- ・第12回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会を開催します（スポーツ振興課）



令和5年9月28日

酒田記者クラブ加盟社 各位

酒田市の各表彰制度 令和5年度受賞者について

このたび、酒田市の各表彰制度における令和5年度の受賞者が決定しました。つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

○各表彰制度の概要、受賞者一覧、受賞者の功績等については、別紙資料のとおりとなります。

- | | | | |
|---|-------------|---|----|
| 1 | 各表彰制度の概要 | … | 1P |
| 2 | 各表彰制度の受賞者一覧 | … | 2P |
| 3 | 受賞者の功績内容 | … | 3P |

【顕彰式】

- 日時／11月2日（木）午前10時～
- 場所／ベルナール酒田

●お問い合わせ／

【功勞表彰・市民表彰・顕彰式】

・市長公室 佐藤 TEL 43-8321

【農業賞】

・農政課 遠田 TEL 26-5792

【庄内文化賞】

・文化政策課 難波 TEL 24-2995

酒田市の各表彰制度の概要

1 功勞表彰 【酒田市表彰条例】

功勞表彰は、広く公共の福祉、市勢の発展に尽くされ、功勞が特に顕著であって市民の模範となるべき個人又は団体を表彰するものです。

(功勞表彰)

- (1) 市の教育、学術、文化の興隆に功績極めて顕著であるもの
- (2) 市の保健、衛生、環境の改善及び社会福祉の向上等において功績極めて顕著であるもの
- (3) 市の産業の振興その他都市の建設等において功績極めて顕著であるもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市民の模範となるべき篤行者

2 市民表彰 【酒田市民表彰規則】

市民表彰は、市民生活の向上及び公共的活動に尽くされた方や市民の模範となる篤行者を表彰するものです。

具体的には、

- (1) 業務に精励し、市民生活の向上に寄与したもの
- (2) 公共的な活動に尽力され、その功勞が顕著なもの
- (3) 前2号に掲げるもののほか、功勞顕著なもの又は市民の模範となる篤行者

3 農業賞 【酒田市農業賞表彰規則】

農業賞は、初代酒田農業協同組合長伊藤惣治郎氏のご遺志により、遺族から寄付された基金をもとに制定されたもので、農業振興に積極的に取り組み、今後の農業経営の指針として他の模範となる個人又は団体を表彰するものです。

4 庄内文化賞 【酒田市庄内文化賞に関する規則】

庄内文化賞は、庄内地方に居住し、学術、美術、音楽、演劇、舞踊等の活動において、優れた成果を上げた個人又は団体を顕彰するものです。

令和5年度 各表彰制度の受賞者一覧

■功労表彰 6個人

No.	氏名等	住 所	年 齢	功績の内容
1	高橋 幸雄 (たかはし ゆきお)	酒田市下安町	76 歳	産業振興
2	弦巻 伸 (つるまき しん)	酒田市東大町三丁目	76 歳	産業振興
3	阿部 建治 (あべ けんじ)	酒田市南新町一丁目	76 歳	住民自治
4	矢島 恭一 (やじま きょういち)	酒田市本楯字地正免	76 歳	保健・衛生
5	阿部 直善 (あべ なおよし)	酒田市北新町二丁目	72 歳	社会福祉
6	石黒 光二 (いしぐろ こうじ)	埼玉県所沢市和ヶ原一丁目	71 歳	文化・芸術振興

■市民表彰 5個人

No.	氏名等	住 所	年 齢	功績の内容
1	富樫 鏢一 (とがし りょういち)	酒田市千日町	81 歳	住民自治
2	後藤 吉史 (ごとう よしふみ)	酒田市字内町	74 歳	住民自治
3	佐藤 俊次 (さとう しゅんじ)	酒田市坂野辺新田字地続山	73 歳	住民自治 体育振興
4	齋藤 潤子 (さいとう じゆんこ)	酒田市大町	72 歳	統計調査
5	高橋 利春 (たかはし としはる)	酒田市光ヶ丘四丁目	71 歳	住民自治

■農業賞 1個人

No.	氏名等	住 所	年 齢	功績の内容
1	伊藤 千春 (いとう ちはる)	酒田市保岡字八幡	67 歳	農業振興

■庄内文化賞 1個人

No.	氏名等	住 所	年 齢	分 野
1	酒井 天美 (さかい あまみ)	鶴岡市家中新町	78 歳	芸術文化

※敬称略、年齢は令和5年11月1日現在

功労表彰

たかはし ゆきお
高橋 幸雄 氏

76 歳／産業振興／酒田市下安町



平成 12 年より山形県建設業協会酒田支部長を務められ、平成 13 年からは山形県建設業協会副会長に就任し、協会会員に対して経営の合理化及び技術力の研さんなどの指導に当たられるなど、長きにわたり豊富な知識と経験を活かし、地域の建設業界を牽引してこられました。

また、市内の高等学校と協力し、生徒の職場体験を会員企業において積極的に受け入れ、後継者育成に力を注がれました。

平成 16 年には、「災害時における酒田市役所所管公共施設の災害応急対策業務に関する協定」の締結に尽力され、市の災害対策の強化及び市民の安全と安心の支えとなっております。

このように、本市の産業振興に多大の貢献をされました。

平成 12 年 4 月～平成 25 年 3 月	山形県建設業協会酒田支部 支部長
平成 28 年 11 月～令和 4 年 3 月	酒田商工会議所 副会頭

つるまき しん
弦巻 伸 氏

76 歳／産業振興／酒田市東大町三丁目



平成 2 年より酒田商工会議所常議員及び副会頭を歴任され、平成 28 年に酒田商工会議所会頭に就任し、新産業会館建設など、長きにわたり商工会議所の運営にご尽力をいただきました。

この間、酒田交流おもてなし市民会議や酒田市ホストタウン推進協議会の発足に携わり、交流人口の拡大、地域産業の振興及び共生社会の推進を図るためにご尽力をいただきました。

さらに、「日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会」設立の発起人を務められ、誰もが働きやすい職場環境づくりに率先して取り組まれました。現在では 100 社を超える企業が会員として賛同し、本市が目指す女性活躍推進の一翼を担ってこられました。

このように、本市の産業振興に多大の貢献をされました。

平成 22 年 11 月～平成 28 年 10 月	酒田商工会議所 副会頭
平成 28 年 11 月～令和 4 年 10 月	酒田商工会議所 会頭

功労表彰

あべ けんじ 氏 阿部 建治 氏

76歳／住民自治／酒田市南新町一丁目



平成24年に南新町37区自治会長に就任され、平成29年から酒田市自治会連合会会長、酒田市自治会連合会連絡協議会会長を歴任し、豊富な知識と強い責任感で地域住民のために力を尽くされてきました。

令和4年度に策定した「酒田市地域コミュニティまちづくり協働指針」においては、原案作成委員を務め、長きにわたる自治会長の経験を活かし、地域コミュニティ組織と市の協働によるまちづくりを推進するため、先導的な役割を果たされました。

また、平成24年から酒田市自主防災協議会の事務局長を務め、地域防災の要としてご尽力いただいております。

このように、本市の住民自治と地域振興の発展に多大の貢献をされました。

平成29年5月～令和5年4月	酒田市自治会連合会 会長
平成29年5月～令和5年5月	酒田市自治会連合会連絡協議会 会長

やじま きょういち 氏 矢島 恭一 氏

76歳／保健・衛生／酒田市本楯



昭和61年に上田診療所を開業し、介護老人保健施設などの開設及び社会福祉法人「本楯たちばな会」の設立など、地域に根差した福祉と医療の向上のために、先導的な役割を果たされました。

平成10年から酒田地区医師会理事に就任され、酒田地区医師会十全堂理事、同副会長を歴任し、長きにわたり市民の健康維持の向上及び地域医療の発展に多大な貢献をされました。

現在は、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」の理事を務められ、地域包括ケアシステムの実現に向けて、在宅訪問診療の充実を図るとともに医療従事者への指導など意欲的に取り組まれております。

このように、本市の保健衛生の向上に多大の貢献をされました。

平成28年5月～平成30年4月	一般社団法人酒田地区医師会十全堂 理事
平成30年4月～現在	地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット理事
平成30年5月～令和4年4月	一般社団法人酒田地区医師会十全堂 副会長

功労表彰

あべ なおよし 氏 阿部 直善 氏

72 歳／社会福祉／酒田市北新町二丁目

平成 25 年に酒田市社会福祉協議会会長に就任され、豊富な知識と経験を活かし、長きにわたり地域福祉のリーダーとしてご尽力されました。

この間、住民主体による支え合い活動の取り組みとして「よろずや琢成」の立ち上げに携わり、その先駆的な仕組みは本市のモデルとなっております。

平成 30 年に「酒田市社会福祉法人連絡会議」を発足し、社会福祉法人同士の連携と協働を目指す土壌づくりのため、積極的に取り組まれました。

また、平成 28 年から酒田市総合計画審議会委員を務め、幅広い視点から総合計画策定に先導的な役割を果たされました。

このように、本市の地域福祉の向上に多大の貢献をされました。



平成 23 年 6 月～令和 25 年 5 月	酒田市社会福祉協議会 常務理事
平成 25 年 6 月～令和 5 年 6 月	酒田市社会福祉協議会 会長

いしぐろ こうじ 氏 石黒 光二 氏

71 歳／文化・芸術振興／埼玉県所沢市和ヶ原一丁目

地元の高校を卒業後、多摩美術大学在学中に本市出身彫刻家の高橋剛氏に師事し、昭和50年に日本彫刻会展覧会（日彫展）、昭和51年に日本美術展覧会（日展）に初出品され、日彫展西望賞、日展内閣総理大臣賞など数々の賞に輝かれております。

作品は平田地域を中心に市内に18体設置され、四季折々の情景に存在感あふれる姿を映し続け、市民の豊かな心をはぐくみ続けております。

また、自身の後援会会員や地域の方々と共に作品の点検や清掃を定期的に行い、彫刻を慈しむ活動に意欲的に取り組まれ、長きにわたり地域振興に多大な貢献をされました。

このように、本市の文化と芸術の振興に多大の貢献をされました。



平成 5 年	「夢につつまれ／In a Dream」日彫展西望賞
平成 28 年	「月光」日展内閣総理大臣賞

市民表彰

とがし りょういち
富樫 瞭一 氏

81 歳／住民自治／酒田市千日町

平成20年に、59区千日町自治会会長に就任して以来、15年の長きにわたり、自治会のまとめ役としてご尽力されました。

この間、酒田市自治会連合会副会長を務められ、市街地約180自治会の振興と発展に貢献をされました。

また、平成23年からは、泉学区コミュニティ振興会副会長、平成28年からは同振興会会長を歴任され、地域におけるまちづくりの旗振り役となり、豊富な知識と強い責任感で地域住民のために力を注がれました。

このように、本市の住民自治と地域振興の発展に多大の貢献をされました。



平成 20 年 4 月～令和 5 年 3 月	59 区千日町自治会 会長
平成 27 年 5 月～平成 31 年 3 月	酒田市自治会連合会 副会長

ごとう よしふみ
後藤 吉史 氏

74 歳／住民自治／酒田市字内町

平成 25 年に松嶺地区内町自治会会長及び松嶺コミュニティ振興会会長に就任され、豊富な知識と強い責任感で地域住民のために力を尽くされてきました。

この間、松山地区コミュニティ振興会連絡協議会副会長及び会長を長きにわたり務めるとともに、松山地域協議会委員として松山地域の振興と発展に貢献されました。

また、松山能振興会副会長を務められ、伝統芸能の継承及び後継者の育成、会の発展等に力を注がれました。

このように、本市の住民自治と地域振興の発展に多大の貢献をされました。



平成 25 年 4 月～平成 31 年 3 月 令和 3 年 4 月～令和 5 年 3 月	松山地区コミュニティ振興会連絡協議会 副会長
平成 31 年 4 月～令和 3 年 3 月	松山地区コミュニティ振興会連絡協議会 会長

市民表彰

佐藤 俊次 氏

73 歳／住民自治・体育振興／酒田市坂野辺新田字地続山

平成29年に黒森第6自治会会長に就任し、現在も自治会のまとめ役としてご尽力されています。

この間、酒田市地区自治会連合会会長及び副会長を務め、豊富な知識と強い責任感で連合会の運営と発展に貢献されました。

また、平成13年から長きにわたり、酒田市スポーツ少年団本部の副本部長及び指導普及副委員長を歴任し、積極的に組織改革や事業の推進に取り組み、青少年の健全育成等に力を注がれました。

このように、本市の住民自治と体育の振興に多大な貢献をされました。



平成 13 年 4 月～平成 16 年 3 月 平成 27 年 4 月～平成 31 年 3 月	酒田市スポーツ少年団本部 副本部長
平成 29 年 4 月～平成 31 年 3 月 令和 3 年 4 月～令和 5 年 3 月	酒田市地区自治会連合会 副会長
平成 31 年 4 月～令和 3 年 3 月	酒田市地区自治会連合会 会長

齋藤 潤子 氏

72 歳／統計調査／酒田市大町

昭和55年に国勢調査に従事して以来、43年の長きにわたり、統計調査員としての実績を重ねられ、これまで実に130回を超える調査に携わってこられました。

特に工業統計調査は、昭和59年から25回従事されました。

他の調査員の模範となる精度の高い調査活動に取り組み、令和3年から酒田市統計調査員協議会理事として調査員確保と後進の育成にご尽力されております。

このように、本市の統計調査活動に多大の貢献をされました。



昭和 55 年 10 月～現在	総務省国勢調査員
昭和 56 年 7 月～現在	山形県統計調査員
令和 3 年 4 月～現在	酒田市統計調査員協議会理事

市民表彰

たかはし としはる
高橋 利春 氏

71歳／住民自治／酒田市光ヶ丘四丁目



平成15年に、76区自治会会長に就任して以来、20年の長きにわたり、自治会のまとめ役としてご尽力されました。

この間、酒田市自治会連合会副会長を務められ、市街地約180自治会の振興と発展に貢献をされました。

また、令和元年に松陵学区コミュニティ振興会会長、令和2年に酒田市市街地コミュニティ振興会連絡協議会会長を務め、豊富な知識と強い責任感で地域住民のために力を注がれました。

このように、本市の住民自治と地域振興の発展に多大の貢献をされました。

平成27年5月～令和5年4月	酒田市自治会連合会 副会長
令和2年4月～令和4年3月	酒田市市街地コミュニティ振興会連額協議会 会長

農業賞

いとう ちはる
伊藤 千春 氏

67 歳／農業振興／酒田市保岡字八幡

庄内みどり農業協同組合の代表理事常務などを歴任し、組織の運営と発展に貢献されました。

平成 7 年に本楯カントリー・エレベーター利用組合長に就任し、カントリー・エレベーターの運営や、無人ヘリコプター防除組織とオペレーター組織の運営に尽力したほか、乾田V溝直播栽培の実践と農業生産組織の法人化等を進め、地域農業の生産振興に力を注がれました。

また、平成 25 年からは本楯地区農業振興協議会会長を務められ、市内では先駆的なドローンを使ったリモートセンシングを実践し、地域農業のリーダーとして先導的な役割を果たされました。

現在も、小学校の教科書に掲載された米づくりの取材地として、東京や神奈川の小学校を訪問し、農業理解、食育活動に尽力するなど、普及啓発活動に意欲的に取り組まれております。

このように、本市の地域農業の振興と普及啓発活動に多大の貢献をされました。



平成 7 年 7 月～平成 13 年 6 月	本楯カントリー・エレベーター利用組合 組合長
平成 19 年 6 月～平成 25 年 6 月	庄内みどり農業協同組合 代表理事常務
平成 25 年 7 月～令和 4 年 7 月	本楯地区農業振興協議会 会長

庄内文化賞

さかい あまみ
酒井 天美 氏

78 歳／芸術文化／鶴岡市家中新町

松岡物産株式会社の代表取締役社長として多彩な事業を手掛け、庄内地域の活性化に貢献をされました。

昭和61年に松ヶ岡開墾場の二番蚕室を利用して設立した「ギャラリーまつ」では、29年間という長きにわたり、500回を超える展覧会を開催し、庄内地域をはじめとした国内外のアーティストによる、芸術作品を幅広く紹介してこられました。

一方、自身も歌人として芸術活動に励まれ、令和4年9月に上梓した歌集「四季の恵」は、多くの方から好評を得ています。

また、「鶴岡シルクサミット」をはじめとする多くの講演会を通して、庄内地域の歴史と文化を広く全国に発信し、次世代の育成にもご尽力いただきました。

このように、庄内地域の郷土文化の継承と文化芸術の振興に多大の貢献をされました。



平成4年2月～平成21年2月	松岡物産株式会社 代表取締役社長 (併設 ギャラリーまつ主宰)
平成8年6月～令和5年6月	財団法人致道博物館 常務理事 (平成24年公益財団法人移行)
平成13年10月	第21回伝統文化ポラ地域賞受賞
令和5年6月～現在	公益財団法人致道博物館 顧問



令和 5 年 9 月 28 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

令和 5 年度酒田市新田産業奨励賞の 受賞者が決定しました

このたび、令和 5 年度酒田市新田産業奨励賞の受賞者が下記のとおり決定しました。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

酒田市新田産業奨励賞は、株式会社平田牧場及び株式会社平牧工房からの寄付金を基に設置した新田産業振興基金を活用して、産業振興に貢献し、他の模範となる個人、団体又は企業を表彰するものです。

【令和 5 年度受賞者】（詳細は別紙参照）

○（株）東洋開発（代表取締役社長 榎引 柳一^{りゅういち}氏）

女性活躍の環境整備に努め、誰もが働きやすい職場づくりの積極的な推進により、従業員の働きやすさを示す様々な制度の認定を受け続けているほか、将来の地域社会を担う人材育成に向けた投資を行う同社の企業活動は、他の模範となるものです。

○（株）原田瓦工業（代表取締役 原田 誠^{まこと}氏）

使用済み瓦のほとんどが埋立処分となっている現状を改善し、廃棄物を再び収益を生む素材として再生させ新たな事業化に成功したことや、素材の新たな活用方法を模索する同社の企業活動は、本市の産業振興に貢献しています。

○JA庄内みどり ケイトウ専門部（専門部長 佐藤 広幸^{ひろゆき}氏）

新たな需要を得るために色鮮やかで高品質な規格を構築、維持することで市場におけるブランドを確立したほか、オリジナル品種の開発、育成を行うなどの取り組みは、本市の産業振興に貢献しています。

【授賞式】

○日時／11月6日（月）午前11時～

○場所／ガーデンパレスみずほ

（みずほ二丁目）

●お問い合わせ／商工港湾課

企業立地・産業振興係 藤原、岩崎

TEL 26-5361 FAX 22-3910

Eメール shoko@city.sakata.lg.jp

酒田市新田産業奨励賞受賞者の決定について

酒田市地域創生部商工港湾課

1. 受賞者等の功績内容

(1) 株式会社東洋開発（代表取締役社長 榎引^{りゅういち} 柳一 氏）

酒田市本町一丁目5番31号

同社は平成6年に創業し、酒田市を中心とした不動産業の他、保険のプロフェッショナルとして幅広い角度から顧客のサポートを行っています。

働き方改革が叫ばれる遥か以前の平成12年からワーク・ライフ・バランスの充実や男性社員の育児休業取得促進等、会社を挙げて社員の勤務環境のサポートに取り組み、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進してきました。

令和5年1月に認定された女性活躍推進法に基づく「えるぼし（3つ星）」をはじめ、不動産業では全国初の「ユースエール」（若者採用・育成）、市内企業で初の「くるみん」「プラチナくるみん」（子育てサポート）など、従業員が働きやすい職場であることを示す様々な制度の認定を受け続けており、令和5年6月に更新されたホワイト企業ランキング（非営利一般社団法人安全衛生優良マーク推進機構）では全国第2位に選ばれました。実態としても、同社の離職率が雇用動向調査（厚生労働省）と比較して極めて低い割合となっており、従業員の満足度が高い職場環境であることが伺えます。

その他、今後の地域社会を担っていく高校生が運営する一般社団法人 SKIES（スカイズ）への寄贈を行い、地域発展へと繋げる活動の支援にも力を入れています。

誰もが働きやすい環境づくりを積極的に推進し続けたことにより女性が活躍できる環境を整備したことや、将来の地域社会を担う人材育成に向けた投資を行う同社の取り組みは、市の産業振興に貢献し他の模範となるものです。



(2) 株式会社原田瓦工業（代表取締役 原田^{まこと} 誠 氏）

酒田市広栄町一丁目6番地の1

同社は明治27年に創業し、屋根葺き・修繕工事業を営んでいます。業歴に裏付けられた技術を有し、県内外の寺社仏閣や高級旅館など日本建築の瓦屋根葺きの実績があり、本市の施設では、城輪柵跡復元工事や出羽遊心館、本間家旧本邸等の工事に携わっています。

瓦葺き屋根の多い庄内地方の特性に着目し、自社内に使用済み瓦のリサイクルセンターを構築、瓦リサイクル製品の開



発を開始しました。葺き替え工事等で発生した廃瓦を破砕して固めた「シャモットブロック」は品質が高く、山形県リサイクル認定製品になっているほか、ピアスや帯留め、ネクタイピンなどのハンドメイドアクセサリも製作しています。

また、山形市の株式会社秋葉アトリエと連携し、瓦粉末よりさらに微細な瓦パウダーを活用した瓦壁の実用化に成功。使用済み瓦のほとんどが埋立処分となっている現状を改善し、有価の資材として創出しました。

昨年からは瓦パウダーを利用したガラス製品の開発に取り組み、環境意識の高い層からの関心を集めるなどしており、長期的な企業の発展に不可欠な概念である ESG 経営（環境<Environment>、社会<Society>、ガバナンス<Governance>の 3 つの要素を重視する経営方法）の先進事例と言えます。

廃棄物を再び収益を生む素材として再生させ新たな事業化に成功したことや、素材の新たな活用方法を模索する同社の取り組みは、本市の産業振興に貢献するものです。

（3）JA 庄内みどりケイトウ専門部（専門部長 佐藤 広幸 氏）

酒田市曙町一丁目 1 番地

平成 26 年に JA 庄内みどりに専門部会を設立。日本有数の産地であるストックと並び、庄内砂丘の特産品であるメロンの後作としてのケイトウ栽培を主導、規模拡大を図ってきました。

主に仏花としての用途であったケイトウを、生け花、フラワーアレンジメントなどの商材としての需要が得られるように、ハウス栽培の特色を活かした色鮮やかで高品質な規格を構築し、ケイトウのイメージを一新させました。

元々、JA 庄内みどりは、出荷している大手市場から 1 年を通して四季折々、品質の高い花を生産している団体と認識されていましたが、同専門部のケイトウは、他産地では商品となるような水準でも出荷不可とするなどの厳しい基準を設けており、他地域との品質の差別化を図っています。市場関係者からは、代用ができないワンランク上のものとして高く評価されており、令和 4 年度に出荷した市場は 8 市場と前年から 2 つ増加し、販売高も 4 千万円を超えるなど、産地としてのブランドを確立しています。

また、平成 28 年からはオリジナル品種の検討・選抜育種にも取り組み、3 年後に主力品種サカタプライドの改良品で濃いピンク色の「サンディーピーチ」を試験出荷、翌令和 2 年から本格出荷販売を開始するなど、新たな挑戦を続けています。

高品質の維持によって市場におけるブランドを確立し、オリジナル品種の開発、育成を行うなどの取り組みは、市の産業振興に貢献するものです。



2. 授賞式

(1) 日 時 11月6日(月) 午前11時00分～11時45分

(2) 会 場 ガーデンパレスみずほ

3. 記念講演会

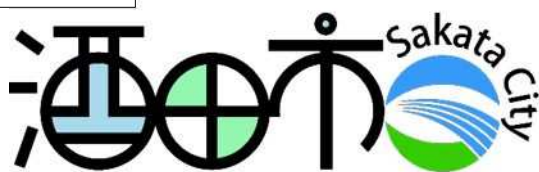
(1) 日 時 11月6日(月) 午後3時10分～5時00分

(2) 会 場 公益ホール(東北公益文科大学内)

(3) 内 容 一部 講演 一柳 良雄 氏(株式会社一柳アソシエイツ 代表取締役CEO、BSテレビ東京キャスター)

二部 鼎談 一柳 良雄 氏
関根 近子 氏(株式会社Bマインド 代表取締役社長)
山中 大介 氏(ヤマガタデザイン株式会社 代表取締役)

(4) その他 入場無料(ただし、WEB申込または市商工港湾課で受付が必要。
詳細は市ホームページや10月16日号広報を参照)



令和5年9月28日

酒田記者クラブ加盟社 各位

登録観光地域づくり法人（登録DMO）に登録されました

一般財団法人酒田DMOは令和5年9月26日付で、観光庁より「登録観光地域づくり法人（登録DMO）」に登録されました。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

観光地域づくり法人（DMO）は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、市内外の多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、その戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。

- 一般財団法人酒田 DMO／令和4年5月26日設立（市が資本金の2/3を出資）
- 登録日／令和5年9月26日
- 申請区分／地域DMO
- 登録番号／第30160号
- マネジメント・マーケティング対象とする区域／山形県酒田市
- 活動の概要
 - （1）様々な主体が連携した地域のプラットフォームの構築
 - （2）データの収集・分析、データに基づく観光コンテンツの企画・開発
 - （3）観光客誘客促進のためのプロモーション・情報発信
 - （4）酒田製品の販路拡大、地域と連携した商品開発などの地域商社機能

●お問い合わせ／

一般財団法人 酒田 DMO

Tel : 080-8543-5591

Eメール : info@sakatadmo.com

酒田市地域創生部交流観光課

Tel: 26-5809、FAX 26-3688

Eメール kankou@city.sakata.lg.jp

① 児童虐待の防止【こども施策】

【こども家庭センター運営事業：予算額18,689千円】

- ・「こども家庭センター」に、虐待対応専門員、子ども家庭支援員、家庭児童相談員に加え、母子保健と児童福祉を統括してマネジメントを行う統括支援員を配置。

② こどもの貧困対策【こども施策】

【子どもの貧困対策推進事業：予算額1,780千円、ひとり親家庭自立支援給付事業：予算額8,692千円】

- ・ひとり親家庭や低所得世帯の児童を対象に、学習支援教室の開催、生理用品の無償配布を実施。
- ・ひとり親家庭の経済的自立、生活環境の改善のため、資格取得にかかる費用や訓練期間の生活費等を給付。

③ 発達支援の充実【こども施策・子育て支援施策】

【発達支援事業：予算額11,186千円、児童発達支援センター管理事業：予算額14,976千円】

- ・「こども家庭センター」に、保健師、発達支援相談員（公認心理士）等を配置、チームを組んで各保育園を巡回し、専門的な見地から児童の発達特性に対してアドバイスや相談支援を実施。
- ・児童発達支援センター「はまなし学園」を利用する児童の保護者の就労支援のため、預かり時間の延長や土曜預かりを試行。

④ こども家庭センターの開設による相談・支援体制の強化【こども施策・子育て支援施策】

【こども家庭センター運営事業：予算額18,689千円、出産・子育て応援交付金給付事業：予算額49,335千円】

- ・「こども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」の組織を統合し、全ての妊産婦、子育て世帯及び子どもに対して一体的な相談支援を行う「こども家庭センター」を開設。
- ・伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠・出産に関する経済的な負担を軽減するため「出産・子育て応援交付金」（妊婦5万円・出生児1人あたり5万円）を交付。

⑤ 子育て支援医療の対象年齢の拡充【子育て支援施策】

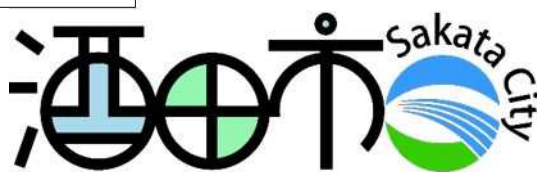
【子育て支援・ひとり親家庭等医療給付事業：予算額341,427千円】

- ・従来中学生までとしていた医療費の無償化を高校生等（18歳の年度末）まで拡大（一部負担、所得制限無し）。
- ・令和5年7月診療分から適用開始。

⑥ 保育料の負担軽減【子育て支援施策】（保育こども園課）

- ・幼児教育・保育の無償化の対象とならない3歳未満児に対し、世帯所得が一定階層の場合に山形県と連携し保育料を無償化。
- ・多子世帯の保育料や副食費を市独自基準による軽減または無償化。





令和5年9月28日

酒田記者クラブ加盟社 各位

第12回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会を開催します

このたび、市民の健康増進と、交流人口の拡大を目的としたスポーツツーリズムに取り組むために「第12回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」を開催致します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

●今大会の規模／参加者数 1,121人（一般：高校生以上）

内、県外参加者 469人（全体の41.8%：第11回大会 45.7%）

種目別／【ハーフ】600人 【10km】521人 ※5km、3km、1,000mは実施しない。

過去参加者数／第4回（H27）1,868人、第5回（H28）1,931人、第6回（H29）1,784人、
第7回（H30）1,727人、第8回（R1）1,842人、第11回（R4）1,065人

●今大会の特徴

○日本陸上競技連盟の公認コースのハーフ・10kmの2種目に限定。

○ゲストランナーは“つや姫大使”の野々村真さん。10kmに出場予定。

○日本陸上競技連盟登録ランナー117人出場（うち山形県48人）。

○RUN as ONE - Tokyo Marathon 2024 との一般提携大会

ハーフの部の完走者の中から抽選で3名に出走権をプレゼント。

○メディカルランナー18人（県内12人、県外6人）。

○給水所を15か所設置し、酒田のラーメン、果物（シャインマスカット）、ドリンクを提供。

○アーリーエントリー（6/20まで）として615人に「つや姫2合」をプレゼント。

【競技スタート】

○日時／10月15日（日）午前9時50分～（10kmの部）

◆主催者挨拶等、オープニングセレモニーは午前9時30分から行います。

○場所／市光ヶ丘陸上競技場前の国道112号（スタート地点）

●お問い合わせ

教育委員会スポーツ振興課 スポーツ振興係 乙坂

TEL 43-6651、FAX 23-2257

Eメール sports@city.sakata.lg.jp